

【門真市】

ひと、事業つなげて地域の魅力発信

8月26日(日)、守口門真青年会議所主催で、第1回「もりかどコラボフェス2018」が開催された。今までの青年会議所が培ってきた繋がりを有効に活用してのイベント事業である。社会貢献団体や個人、地域密着飲食店など、賛同した団体のそれぞれ個々での活動を繋ぎ、まちづくりの新しい形を創るのが目的。商店街のど真ん中、大和田第五タイムズを貸し切り、アナログな人と人のつながりやコミュニケーションを深めていくだけでなく、SNSを活用したデジタルな発信も取り入れている。FacebookでのLIVE配信、インスタグラムやツ

ィッターを活用した広報や企画も採用し、浴衣コンテストやフォトジュニックコンテストなど、地域の魅力発信をした。明るい豊かな社会の創造という共通理念のもと、40歳までの青年経済人が地域貢献活動を行う青年会議所は、一人では何もできないところを数の力、スケールメリット、各種団体を巻き込んで社会貢献事業を行っている。

暑い中、地域の人たちが多く参加して、イベントは大成。実行責任者の「魅力あふれるまち創造委員会」の本田貴裕委員長は、「これからはしっかりとまちの課題を認識し、必要な提案を行っていききたいと思います」と語る。

9月16日には、ドミノ3万個チャレンジを予定している。

(問) ☎06699980781
一般社団法人守口門真青年会議所



大盛況の「もりかどコラボフェス2018」